第3章 計画のめざすところ

1. 計画の基本理念

本町ではこれまで、「みんなの『あい』でつくる 福祉のまち竜王」を基本理念として、様々な 「あい」であふれるまちの実現をめざして地域福祉計画および地域福祉活動計画を推進してきまし た。

この度新たに策定した本計画では、本町がこれまでにも計画の推進を通じて大切にしてきた、地 域への愛着、思いやり等のみんなの「あい」を一層育んでいくことを推進します。それに加えて、 社会的性差、世代、居住地等の属性を超えて、ともに支えあう"お互い様"を基本とした地域づく りを進めていきます。

そして、すべての人が社会との接点を持ち、地域や一人ひとりの強みを活かしながら、安心して 暮らせる地域社会を実現するため、『**みんなの「あい」でつくる共生のまち 竜王』**を新たな基本理 念として掲げます。

■基本理念の構成イメージ

計画の基本理念

みんなの「あい」でつくる共生のまち 竜王

課題に対応するための新たな取組の推進

- ○公助の責務の明確化と推進のための進行管理
- ○多様性を受け入れる(性別、世代、新たな価値観)
- ○新たなつながりの創出(民間企業や農業等の他分野)
- ○圏域や担い手の考え方の整理(他市町の近居者、人口集中地区からの 人材確保)
- ○地域福祉を推進する人材の養成、確保(住民、行政、社協・専門職)

これまでの成果と地域特性の活用

《現行計画》

- ○自治会での集いの場の推進
- ○直営での相談体制の構築

《竜王町らしさ》

- ○昼間人口、関係人口の多さ
- ○自治会単位での活動

地域福祉における今後の課題

- ○人口減少や人口構造の変化
- ○世帯の縮小(単身化)
- ○自治会活動の継続困難
- ○自然災害の脅威

2. 竜王町における圏域や担い手の考え方

地域福祉の効果的な推進のためには、専門性の高い総合的・広域的な福祉サービスの提供から自治会等の住民による見守り活動等といった、各圏域に応じた推進体制を整備することが必要です。

本町は、自治体域(町域)が一つの中学校区である小規模な自治体です。また、32 地区ある 自治会は、現在まで惣村の歴史をつむいでいる自治会と新興住宅地の自治会に大別され、それ ぞれの規模等に合わせた住民自治に取り組んでいます。

自治会域を超えて、関心や得意分野から展開するテーマ型の地域活動や NPO 法人等による市 民活動については、地縁型の活動と連携、補完しあいながら展開していくことが期待されます。

コミュニティビジネスという就労、いきがい、持続可能性を追求した手法も期待されます。

また、近居者、町外から町内に働きに来ている人等の往来も踏まえて、竜王町に接点のある 人の協力を得る体制がますます必要となってきます。

■竜王町における圏域の整理

範囲		地域の規模別の活動単位と役割	手法	
自分でなんとかできること	隣近所	地域における最も身近な単位。近隣同士での声かけや 見守りなど、顔の見える関係の中でのつながり・支えあ いが期待される。	子育て	百償運送 サークル よど
	自治会	字による単位で構成され、防災や清掃、組織的な支えあい活動など、住民参加による身近な生活課題の共有・解決が期待される。	テーマ型活動	
解決できそうなこと	全町	自治体区域であり、自治会単位では対応できない規模 や専門的な課題への対応や自治会への支援、他自治体 との連携が求められる。 昼間人口の多さを活かし、町内企業の強み、特性を活か した協力が期待される。	動(ボランティアなど)	コミュニティビジネス
専門的な支援が	広域	大規模または高度に専門的なサービスを提供することや、少数派になりやすいニーズや、または効率的な事業 実施のための連携が期待される。 近居者の協力のもと、地域住民、専門職の連携による支 援体制が期待される。	ێ	7
		近居者とは、様々な交通手段を使って1時間以内に 駆け付けられる範囲に居住している親族を指す。		

3. 計画の基本目標

基本理念の実現に向け、以下の基本目標を掲げます。

今回の計画では、基本理念に掲げている「~しあい(お互い様)」という意味の"あい"を基本目標の中に組み入れています。

であいとわかちあいで風土づくり

基本目標1

誰もが地域社会の中で多様な価値観をわかちあい、支えあう、共生の考え方が 風土となるよう、人権問題や男女共同参画の課題、様々な特性や属性の人に対 する理解を深めるための取組を進めます。

また、新たな風を吹かせる人と郷土に暮らす人など、様々な人や団体が織りな すネットワーク構築のための出会いづくり、つながりづくりを進めます。

お互い様の支えあいで仕組みづくり

基本目標2

住民同士、関係者同士が顔の見える関係になり、困ったときには気軽に相談でき、支えあいにつながるよう、集いの場等の居場所をつくるとともに、同じ悩みを抱える人同士や世代間の交流を深め、お互い様の絆づくりを進めます。また、独居高齢者や地域との接点が少なく埋もれやすい人への声かけ、見守り等の小地域福祉活動等を通して、普段からの関係性構築から、いざという時にも支えあうことのできる地域づくりを進めます。

多機関の重なりあいで体制づくり

基本目標3

住み慣れた地域で必要な支援を活用してその人らしく生活できるように、また本人の意思を尊重しつつ、様々な分野の課題を丸ごと受け止めることができるように、行政、多職種が重なりあい、支えあいのネットワーク、総合相談体制づくりを進めます。

また、社会との接点が少ない人や身寄りの協力が得られにくい人に寄り添った支援を行うとともに、一人ひとりが地域で役割や生きがいを感じられる社会参加の場のコーディネートを行います。

4. 計画の体系

基本 理念

みんなの「あい」でつくる共生のまち 竜王

基本 目標 1

であいとわかちあいで風土づくり

活動目標1-1 共生の心を育む 学びの場づくり

- ①人権理解・男女共同参画のための学習・啓発
- ②属性を超えて共に生きるための学習・啓発

活動目標1-2 多様な関わりを増やす しかけづくり

- ①多様な地域活動のあり方の協議・提案
- ②身近な圏域におけるネットワークづくり
- ③地域活動を促すコーディネート機能の拡充

基本 目標2

お互い様の支えあいで仕組みづくり

活動目標 2 - 1 多様な交流の場づくり

- ①多世代が交流する場の推進
- ②同じ悩みを持つ人が集まり、語る場づくり
- ③テーマでつながる場づくり

活動目標2-2 地域での支えあいの 仕組みづくり

- ①地域の中の困りごとを共有する 仕組みづくりの推進
- ②日ごろの見守り活動の推進
- ③安全な暮らしを守る地域づくり

基本 目標3

多機関の重なりあいで体制づくり

活動目標3-1 相談・情報提供体制の 充実

- ①不安や悩みを受け止める相談体制の確保
- ②埋もれている悩み事への早期対応
- ③虐待・家庭内暴力の予防と対応
- ④情報を入手しやすい環境の充実

活動目標3-2 支援を必要とする人を 支える体制づくり

- ①生きづらさを抱える人たちへの支援の推進
- ②成年後見制度・地域福祉権利擁護事業の推進

5. 重点プロジェクト

基本目標や活動目標を横断して進めていくべきテーマや、本計画において重点的に進めることで効果が見出しやすい取組を本計画の重点プロジェクトとして位置づけます。

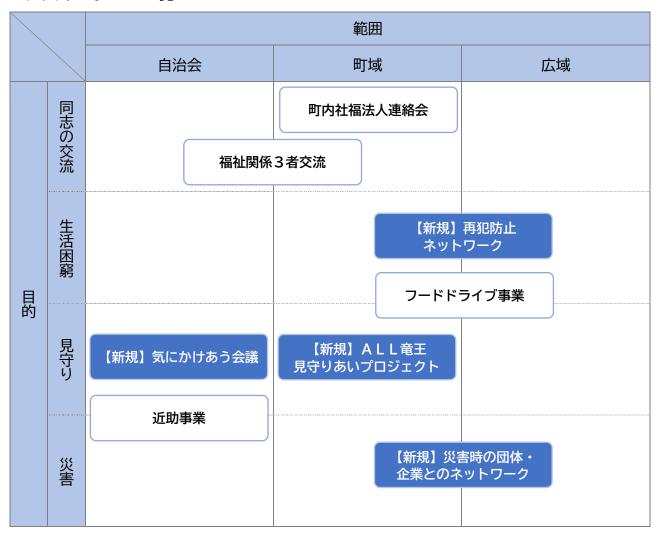
また、重点プロジェクトは重層的支援体制整備事業のような施策と関連性が高く、複数のプログラムの集合体としてとらえ、進行管理を行います。

(1) 多様な主体が混ざりあうプラットフォームの創造

住民、関係団体、専門職、企業等の多様な主体や多世代が、暮らしの中や業務の中で感じている課題を解決するという共通の目的のもと、柔軟につながり混ざりあう協働の場を設けます。 また、そこから参加者同士の新たなつながりや展開を生むためのしかけを考えていきます。

	○ALL 竜王見守りあいプロジェクトの開催	
具体的な	 ○コミュニティビジネスの展開を検討する場の設置	
取組	 ○フードドライブを活用したネットワークづくり	
	○専門職間の勉強会、交流会の場を活用した異文化交流や参加者の拡大 など	

■プラットフォームの一覧



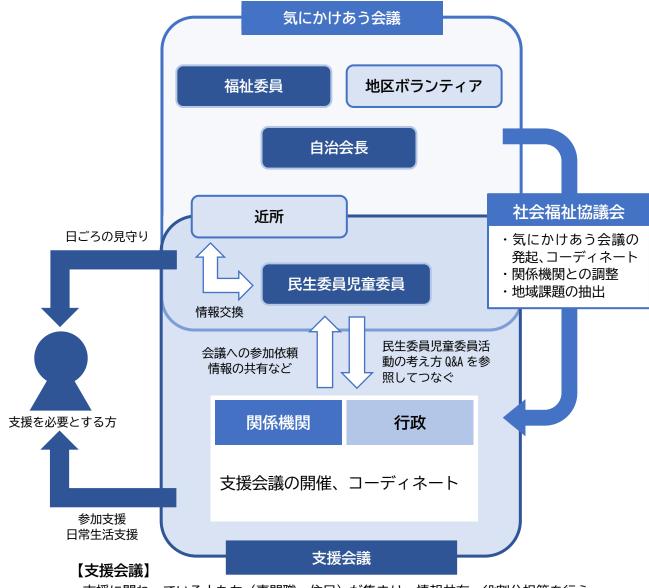
(2)地域の「気にかけあう」と専門機関をつむぎあう連携体制の構築

地域住民の日ごろの見守りから気にかけあっていること、これからの地域の気になることを地域内で共有し、話しあう場を設けるとともに、気になる課題を支援する専門機関につなげます。 また、地域住民、専門職が協働し、個人を支えるチームづくりのためのコーディネートを行います。

■コーディネート機能のイメージ

【気にかけあう会議】

近所で気にかけあっている(心配な)人の ことを地区で話しあう会議



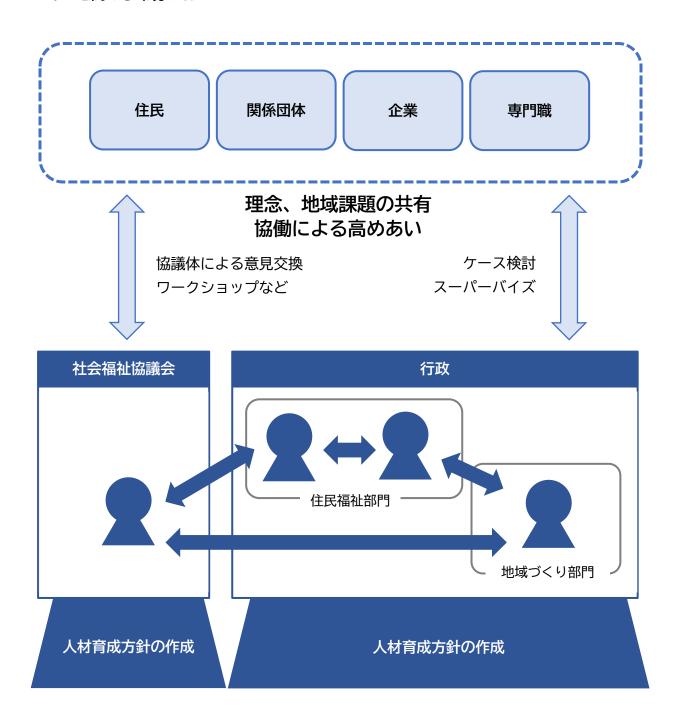
- ・支援に関わっている人たち(専門職、住民)が集まり、情報共有、役割分担等を行う
- ・参加者には守秘義務を課す(社会福祉法第106条の6に基づく)

(3)地域福祉の推進、総合相談支援に必要なスキルを高めあう環境の整備

地域福祉をはじめ、地域づくりを推進できるスキル、ミッションを持った人材、多分野にわたる総合相談に対応できる人材の育成のためのキャリアラダーとなる指針を設けます。

□ ○行政、社協の人材交流 具体的な □ ○地域づくり分野に関する専門性向上のためのキャリアデザインの作成 取組 □ ○福祉保健専門職における総合相談支援の専門性向上のためのキャリアデザイ ンの作成

■スキルを高める環境のイメージ



6. 包括的な支援体制と重点プロジェクトの関係性

本町では、令和4年度(2022年度)より包括的支援体制の構築に向けて、行政、社会福祉協議会の役割等を明確にしながら、地域福祉計画の重点プロジェクトを推進しています。

重点プロジェクトは、共助の推進による地域づくり、公助の責務を軸とした相談支援、共助と公助の連携を高めるコーディネートをポイントとしています。

下記の図のようにそれぞれの視点の関連性を意識し、包括的な重点プロジェクトの推進を図ります。

■竜王町における包括的な支援体制の全体像

